

【下方地区 地域支え合い体制づくり事業】

小宿っ子お助け隊（ごみ捨て代行事業）スタート！

20170123 / 下方地区SC：勝村克彦

奄美市名瀬の「下方地区 地域支え合い体制づくり事業」の一環として、子ども達（地区子ども会、スポーツ少年団、等）が、同じ地域に住む高齢者や障がいを抱えている人たちの日常のごみ捨てを代行する「小宿っ子お助け隊（ごみ捨て代行事業）」がスタートしました。

まずは、公営住宅を多く抱える名瀬浜里町において、公営住宅に住んでいる一人暮らしの高齢者の方のごみ捨てから始めました。

初日の子どもたちの様子を追ってみました。

❁ 名瀬浜里町は、公営住宅群と一軒家地帯が併存する地域。

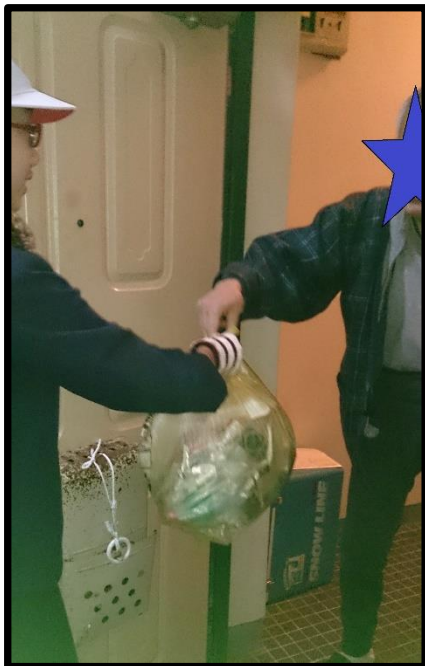


【浜里町の市営住宅に住んでいる利用者Tさんのケース】

いつもは学校へ向かう朝7時に利用者Tさん宅へ向かう小学生Mさん



Mさんは、Tさん(シャイなもので顔出しNG)と朝の挨拶を交わし、
ごみを預かって、住宅のゴミ捨て場に捨てて、ごみ捨て完了!



【浜里町の市営住宅に住んでいる利用者Hさんのケース】

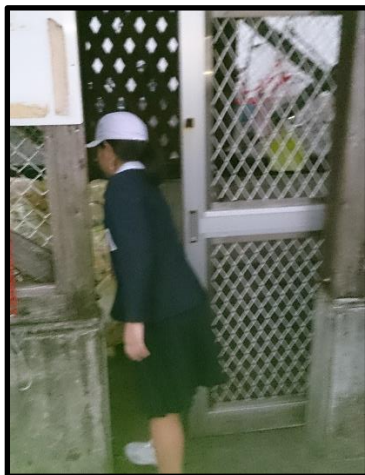
まだ薄暗い朝7時に利用者Hさんの住む住宅へ向かう小学生Yさん



Yさんは、Hさん（お化粧してないから顔出しNG）に朝の挨拶をして、ごみを預かりました。



住宅のゴミ捨て場に捨てて、ごみ捨て完了！



ごみ捨て終了後、二人は自宅に戻ってランドセルを背負い、学校へ

